



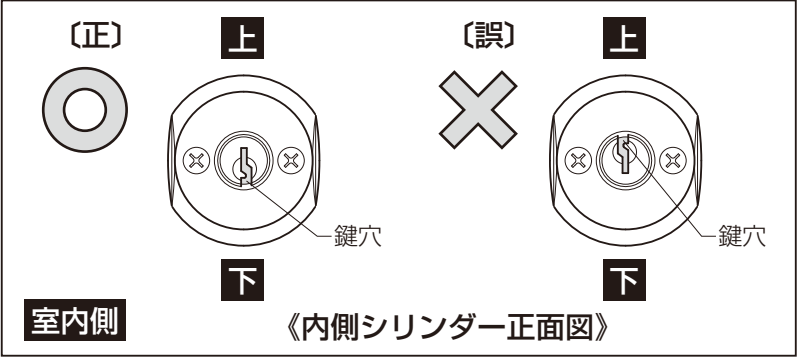
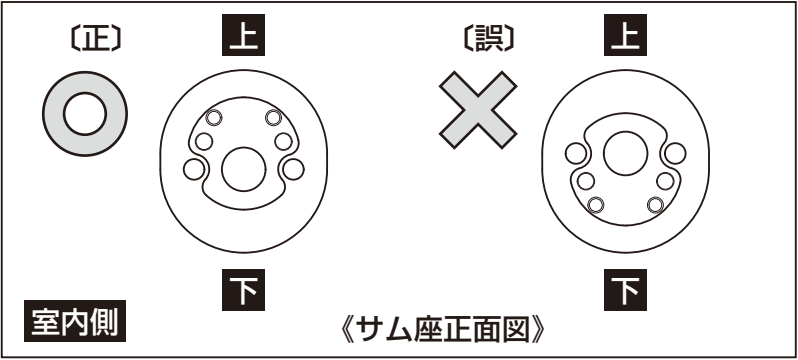
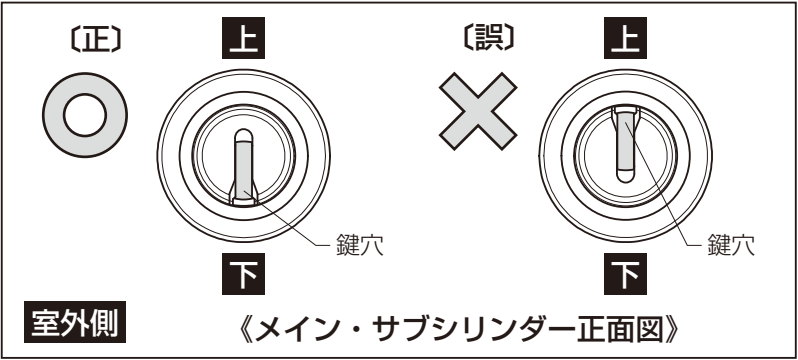
■取付け上のお願い

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油（CRC556など）やミシン油を注入しないでください。作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴潤滑剤または鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

■取付け順序

1メインシリンダー・セキュリティサムターン  
（または内側シリンダー）の取付け〔上側〕

- ①メインシリンダー（ボルトの付いている方）の鍵穴が下寄りになるように向け、本締り箱錠（上）の丸穴に差込みます。（右図）  
※メインシリンダーを必ず、本締り箱錠（上）に取付けてください。防犯性が低下します。
- ②サムトメパイプを本締り箱錠（上）に当たるまでメインシリンダーにねじ込み、約1回転緩めておきます。
- ③サム座の上下を右図のように向け、サムトメパイプにねじで固定します。  
※サム座がサムトメパイプの間に入らない場合は、サムトメパイプを更に緩めてください。
- ④セキュリティサムターンをサム座に差込み、ねじで固定します。



●内側シリンダーの場合

- ①メインシリンダー（ボルトの付いている方）の鍵穴が下寄りになるように向け、本締り箱錠（上）の丸穴に差込みます。（右図）  
※メインシリンダーを必ず、本締り箱錠（上）に取付けてください。防犯性が低下します。
- ②サムトメパイプを本締り箱錠（上）に当たるまでメインシリンダーにねじ込み、約1回転緩めておきます。
- ③樹脂スペーサーをサムトメパイプの間に差込みます。  
※樹脂スペーサーがサムトメパイプの間に入らない場合は、サムトメパイプを更に緩めてください。
- ④内側シリンダーの鍵穴が下寄りになるように向け、本締り箱錠（上）の丸穴に差込みます。（右図）
- ⑤内側シリンダーをサムトメパイプにねじで固定します。

2サブシリンダー・サムターンの取付け〔下側〕

- ①サブシリンダーの鍵穴が下寄りになるように向け、本締り箱錠（下）の丸穴に差込みます。（右上図）
- ②サムターンを本締り箱錠（下）の丸穴に差込みます。  
★サムターンのツマミは縦にしてください。
- ③サムターンをサブシリンダーにねじ止めします。  
★サムターンは縦の時解錠、横の時施錠です。

3レバーハンドルの取付け

- ①外側台座を室外側からラッチ箱錠の丸穴に差込みます。
- ②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- ③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- ④レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

■コンストラクション装置について  
（装置付きの場合）

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。

